



● Vent de Voyage ヴァン・ド・ヴォヤージュ  
 3, rue Saint-Thomas 35400 Saint-Malo  
 ☎ +33 (0)2 99 20 17 91 www.ventdevoilage.com  
 上/船乗りの夫と建築家の妻が転身して開いた店。床を板張りにした内装は、船のデッキをイメージしている。

● La Porte Saint-Pierre  
 ラ・ポルト・サン・ピエール  
 2 Place du Guet 35400 Saint-Malo

☎ +33 (0)2 99 40 91 27  
 www.hotel-portestpierre.com  
 右/今朝水揚げしたばかりのブルターニュ産オマールエビ。左/厨房を預かる妻アナイクとサービスを仕切る夫ノバール。家族経営で75年、サン・マロが誇る老舗だ。



歴かれ、海軍のパノラマが広がる  
 リラックスルームに横たわれれば、「ラ・ヴィ・エ・ベル（人生は美しい）」というフランス語のフレーズが頭に浮かんでくる。海はどこまでも碧く、時はゆるやかに、優しく流れる。

心と体が癒されたら、中世の趣を残す旧市街散策へ。大航海時代に私掠船で富を築いたサン・マロは、海に突出した旧市街全体が城壁に囲まれている。第2次大戦で8割が破壊されたというが、歴史を重んじて再建された町並みには、その爪痕は見られない。

旧市街は通りごとに商店の特徴がある。例えばカテドラル前の通りは郷土菓子、交わる格蘭ドリユ通りはマリングッズを扱う店が集まる。人けの少ない道にも、船の帆布を使った雑貨の「アトリエシヨップ」「ヴァン・ド・ヴォヤージュ」のようなおしゃれな店があり、気の向くまま、隅々まで歩くのが楽しい。食事は海側の城壁に近い「ラ・ポルト・サン・ピエール」で。ブルターニュ特産の海のお腹いっぱい食べさせてくれる、地元っ子に人気のピストロだ。冷えた白ワインで乾杯し、ふりふりのオマールエビやアワビに舌鼓を打ったら、近くのサン・ピエール門から城壁の上を歩いて腹ごなし。時間帯が合えば、満潮時のダイナミックなスペクタクルを眼前に楽しめる。ちょうどモン・サン・ミッシェルの周囲にも潮が迫り、神秘的な姿を現している頃だろう。

